

✧ 海外ニュース ✧

ドイツ 2016年3月28日 Zeit オンライン版

■ 道路交通：欧州連合域内の交通死亡者数、15年ぶりに増加を記録

Straßenverkehr : Erstmals seit 15 Jahren mehr Verkehrstote in der EU

EUは2020年までに交通死亡者数を2010年の半数にまで減少させることを目指している。しかし現状はこの目標にほど遠い。2015年には事故による死亡者の数が再び増加した。ドイツにおいても2015年の交通死亡者数は2.9%増加し、3,475人を記録した。これでわが国では2年連続して犠牲者数が前年に比して増加したことになる。しかしながらドイツにおける死亡者数は依然として欧州全域の平均を下回っている。

ドイツ 2016年4月4日 Verkehrs Rundschau オンライン版

■ ラーダー高架橋上で、1万台を超えるトラックが速度違反

Mehr als 10.000 Lkw auf Rader Hochbrücke geblickt

9月半ば以降、劣化が問題とされているこの構造物の上では、速度違反取り締まり用のカメラが設置されている。しかしすべてのトラックドライバーが時速60kmまでという制限を遵守している訳ではない。このたびの問い合わせに対する交通省の回答によれば、2015年9月半ばから2月半ばにかけての期間だけでも、許可されている最高速度60kmを超過して走行したと記録されたトラックの台数は9,556台に上っている。

ドイツ 2016年4月4日 Welt オンライン版

■ アウトバーンがデータ・アウトバーンへと進化：隊列走行プロジェクトで部分的自動運転のトラックがオランダに集結

DIE AUTOBAHN WIRD ZUR DATENAUTOBAHN : Sternfahrt von teilautonomen Lkw

この数日、安全車間距離よりも大幅に狭い緊密な隊列を組んで走行している3台1組のトラックを見かけることがあるかもしれない。そのような人は、未来の道路貨物輸送のあり方を先取りする光景を目にしている可能性がある。オランダ政府の主導による「2016年度欧州トラック隊列走行チャレンジ」はさまざまなヨーロッパのトラック・メーカーの支援を受けている。フォルクスワーゲントラック & バス社では、隊列走行構想を2020年までに欧州に導入することが技術的にみて可能だと考えている。

フランス 2016年4月7日 Vinci

■ ル・マン24時間オートバイ耐久レース：ヴァンシ、今年もライダーの安全を守るため協力

24 Heures Motos : la Fondation VINCI Autoroutes renouvelle son engagement pour la sécurité des motards

ヴァンシ高速道路会社が管理する高速道路の4カ所に設けられる休憩所「ルレ・モト」は、ライダーが移動中に定期的に休憩を取る機会を与えるのと同時に、眠気を帯びたまま運転することの危険を啓発する場ともなる。休憩所ではコーヒー1杯と菓子パンが振舞われる。ひと眠りして安全に運転できるよう、仮眠コーナーも設けられる。さらに、ライダーと車のドライバーとで道路を賢くシェアするよう促す交通安全標語「二輪でも四輪でも命は1つだけ」が、ル・マンに向かう道路に設置されている電光掲示板のすべてで表示される。

フランス 2016年4月8日 Vinci

■ 2016年春の休憩イベント：高速道路の舞台裏によるこそ

Etapas de printemps 2016 : bienvenue dans les coulisses de l' autoroute

ヴァンシ高速道路会社が管理する高速道路のサービスエリア・パーキングエリア(SA・PA)で春の休憩イベント「エタップ・ド・プランタン」を開催し、バカンス客にヴァンシ高速道路会社の交通情報伝達システムのさ

さまざまな側面を楽しく学べる VR（バーチャルリアリティ）を体験する機会を提供する。バカンス客はヴァンシ高速道路会社のアプリをそれぞれ自分のスマートフォンにダウンロードするか、あるいは SA・PA で貸し出されているスマートフォンを使い、さらに Google Cardboard（ボール紙製スマートフォン用ヘッドマウントディスプレイ）を併用することで新技術に触れ、ヴデーヌ＝アヴィニオン交通情報センターをバーチャルに見学することができる。

フランス 2016年4月12日 Le Figaro

■ アベルティスグループ：2016年に20億ユーロの投資を実施

Abertis : 2 milliards d'euros d'investissements prévus en 2016

2015年、アベルティス・グループはブラジル、チリ、そしてその第1の市場であるフランスを中心に10億7,400万ユーロの投資を行った。そして今年は「今後生じる可能性のある買収事業を別にして、投資額を20億ユーロ（22億8,000万ドル）にまで増大する」と同グループのプレスリリースが伝えている。

ドイツ 2016年4月13日 Verkehrs Rundschau オンライン版

■ 自律走行への道を開くドイツ連邦政府

Bundesregierung gibt Weg für automatisiertes Fahren frei

ドイツの公道では今後、自動運転システムがこれまで以上に利用できるようになることが望まれている。このため連邦内閣は4月13日、ウィーン条約の改訂を実行に移し、法的基盤を拡充するための法案を採択した。この法案に従えば、車載コンピューターが新たな役割を独自に遂行することが可能になる。しかしながらシステムは、ドライバーがコンピューターの操作を修正したり、あるいはスイッチを切ったりすることが、いつ何時でも可能なものにするのが義務付けられている。

フランス 2016年4月14日 APRR

■ 運転中は携帯電話の使用は控えよう

Merci pour chaque appel manqué

アクサ予防協会の最新の調査によると、運転中に電話を使用したフランス人の割合は2014年に34%だったのに対し、2015年は38%であった。さらに悪いことに、運転中にSMSを読んだり書き込んだりしたドライバーは23%に上るとされている。この問題に対処するため、パリ・ライン・ローヌ高速道路会社（APRR）とローヌ・アルプ高速道路会社（AREA）は4月1日、運転中のドライバーの注意力を削ぐ恐れのある電話およびGPS等の運転支援機器の危険について啓発キャンペーンを実施した。

スペイン 2016年4月14日 勸業省

■ スペイン、EUの自動運転車推進を支援

España respalda el impulso de la Unión Europea a los vehículos automatizados y sin conductor

アナ・パストール勸業大臣は本日、アムステルダムで開かれたEU運輸大臣非公式委員会の枠内で、スペインは2019年からEUが推進する自動運転車ならびにコネクテッド・カーの開発と商品化を支援すること、また同時にそれを可能とする、ヨーロッパの技術・規制的枠組みの制定を支持したことを強調した。

スペイン 2016年4月21日 Abertis

■ アベルティス、プエルトリコの有料自動車道路のコンセッション期間10年延長に合意

Abertis acuerda la extensión en 10 años del plazo de la concesión de sus autopistas en Puerto Rico

これらの新しい義務を負う代償として、コンセッション管轄当局は有料自動車道路PR-22号線に設置した動的料金システム（DTL）の収益分配率を現行の50%から25%に減らすと約束している。さらに、2件の有料自

動車道路のコンセッション期間を 10 年延長し、2061 年までと定めている。

ドイツ 2016 年 4 月 22 日 Welt オンライン版

■ フランクフルト市、アウトバーンの地下化により、住宅 4000 戸の建設を計画

Frankfurt will Autobahn verstecken und 4000 Wohnungen bauen

フランクフルト市はオーバーウルゼル～ランゲン間を結ぶアウトバーン 661 号線の一部にあたる、市の北東部に位置する区間に、遮音壁のみならず屋根を設置し、4,000 戸近くの住居を建設することを計画している。アウトバーンについては、市当局は 400m に及ぶトンネルを建設する方針であり、その工費を 9,100 万ユーロと見積もっている。こうして建設される「アウトバーンの覆い」の上は「緑の中心部」とすることが計画されており、新鮮な空気がヴェッテラウ郡の方から都心へと届けられるようになるという。

スペイン 2016 年 4 月 22 日 Cinco Días オンライン版

■ 料金所の渋滞は過去の話になる——有料自動車道路料金から駐車場まで、請求書が 1 つに

El atasco en el peaje será historia. De las barreras de la autopista a las del aparcamiento y ~~unificado~~ unificado en una sola factura.

1 年と少し前、有料自動車道路コンセッションの主要企業が力を結集したことで、一歩前進があった。アベルティス、シントラ、イティネレ、さらにカイシャバンクも加わり、有名な VIA-T 装置のノンバンク系販売業者である Bip&Drive 社を設立した。VIA-T とは、支払いやチケットを取るために車を停めることなく、料金所を通過できる装置のことである。また同社はこの装置を新しい支払い手段に変えた。これにより、ハンドルを握っている間はグローブボックスの中の小銭を探すことと無縁でいられる。